

紫波ネット

2000

5

「わが町を知る」
「わが近隣を知る」
「わが未来を知る」ための
総合広報

No.551
月号

発行 / 岩手県紫波町 編集 / 企画課

環境調査
結果報告

1703人に聞いた 「環境度チェック」



紫波中央駅コミュニティセンター建設に向けた意見集約の前に心に留めておいてほしいことがあります。

それは自然界に存在する色、形についてもっと学ばなければならぬのではないかとこの点です。私が紫波に初めて降り立ったとき、最初に感じたのは母の胎内にいるような安らぎ感でした。それがどういう理由かは分かりませんが、いずれにしても実にいい雰囲気だったんです。自然界にはそう思わせてくれる色や形があふれています。山菜や魚の色を見て、いやだと思っ人はいないでしょう。そしてその形を見てみると実に機能的な美しさにあふれている場合が多いんです。まずは周辺に目を向けることにしましょう。きっと発見があるはずです。

(四月二十一日
えきビルド・ワークショップ)

MY MESSAGE

私からのメッセージ

佐川旭さんから

自然界に学ぶ
色・形・機能

さがわ・あきら 佐川旭建築
研究所代表。自然と人との共生
を目指し、紫波中央駅のコミュ
ニティセンター建設に参加

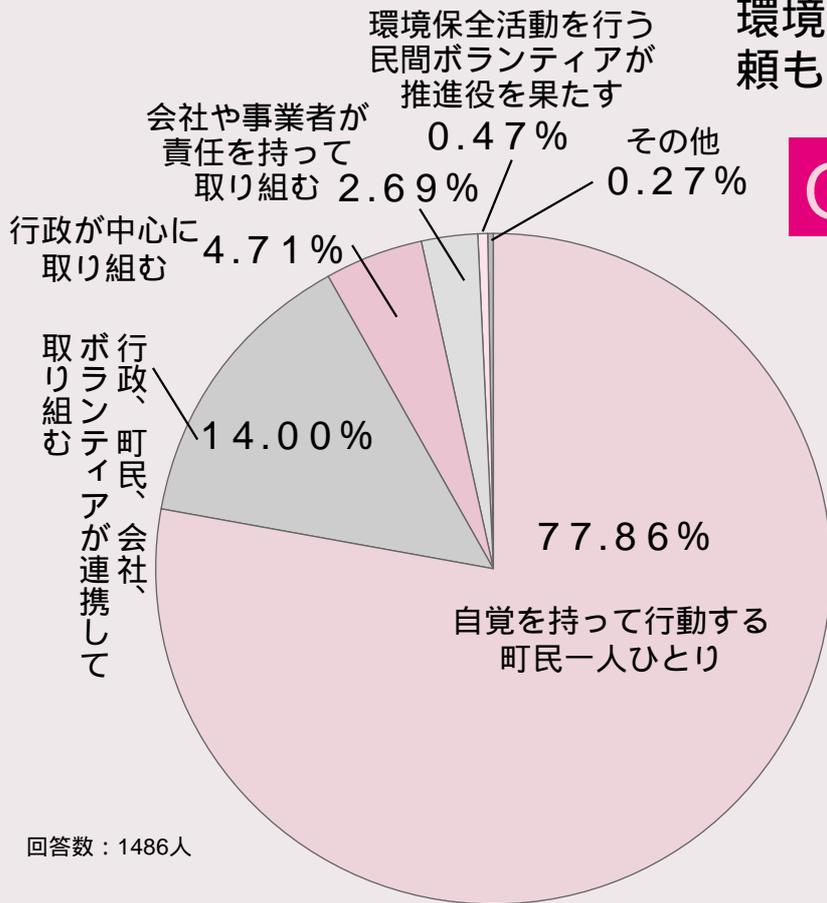
1703人に聞いた 「環境度チェック」



町では緊急地域雇用特別基金事業の一環として、昨年十月二十五日から一月十三日の期間、町の環境調査を行いました。調査は町内三百五十四事業所と全世帯の二〇パーセントにあたる千八百六十世帯を対象に、事業所廃棄物実態調査、一般家庭ごみ処理実態調査、環境意識調査、身近な生き物調査の四項目について行われました。それでは主な調査結果をお知らせします。

タイトルの「1703人」は今回取り上げた「一般家庭ごみ処理実態調査」と「環境意識調査」の有効回答数を一世帯あたり一人に換算したものです。本調査の詳しい内容については冊子にして各公民館に配布してありますので、ご参照ください。

環境改善の主人公は自分 頼もしいアンケート結果



Q 今後の環境を良くしていく主人公はだれ？

行政や事業所まかせではなく、町民一人ひとりによって、環境はよくしていくもの。実に八割近くの人が、環境改善に向けて前向きな姿勢がこのアンケートの結果となりました。町としてもこうした皆さんの意見を重視し、有機資源循環計画などの環境施策をお知らせしていかねればと再認識させられました。

回答数：1486人

	0	20	40	60	80	100%
空気がきれいだ	72.36%			12.86%	14.78%	
川の水がきれいだ	32.04%	47.05%			20.91%	
騒音や振動が少ない静かなところ	54.12%			32.04%	13.84%	
工場や畜舎からの異臭も特にない	67.08%			20.01%	12.9%	
山や森のみどりが豊かだ	79.45%			8.54%	12.02%	
さまざまな自然の生き物が一緒に生きている	49.86%	23.56%			26.58%	
田んぼや畑など農地が荒れすぎずに生き生きしている	41.92%	34.34%			23.74%	
公園や街路樹など「町の緑」が豊かだ	57.58%			18.71%	23.71%	
川や水辺のふれあいが豊かだ	27.87%	40.75%			31.38%	
歴史や文化に恵まれている	44.42%			21.47%	34.11%	
自然や風景が美しいところだ	65.9%			10.38%	23.72%	
まちなみが美しいところだ	23.73%	35.45%			40.83%	
ごみのほい捨てなどもなくきれいなまちだ	23.38%	46.84%			29.78%	
交通の便に恵まれている	57.72%			27.63%	14.65%	
買い物など生活するにも便利なおところだ	64.88%			18.35%	16.77%	

そう思う
 思わない
 どちらでもない
 最大回答 複数回答): 1610人

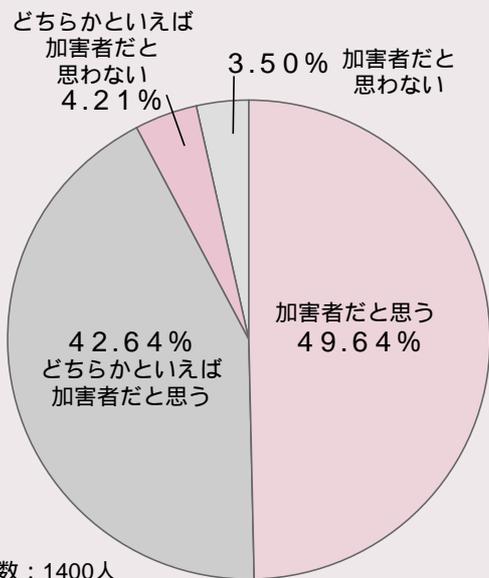
Q 住まいや周りの環境についての印象は？

緑豊かで空気がきれいな紫波 しかし環境問題の加害者は自分

「空気がきれい」「山や森の緑が豊か」「自然や風景が美しい」上記の自分自身の住環境についてのアンケートでは肯定的な意見が多くを占めました。その反面、否定的な意見としては川の水について、きれいな川というイメージは少ないようです。

現在世界的に環境問題がクローズアップされていますが、こうした環境問題を招いた加害者は自分自身、どちらかといえばという人が九割以上に達しました。

人間自身が環境問題に根深くかかわっているという認識が出た結果となりました。



Q 今日の問題は私たちも加害者である？

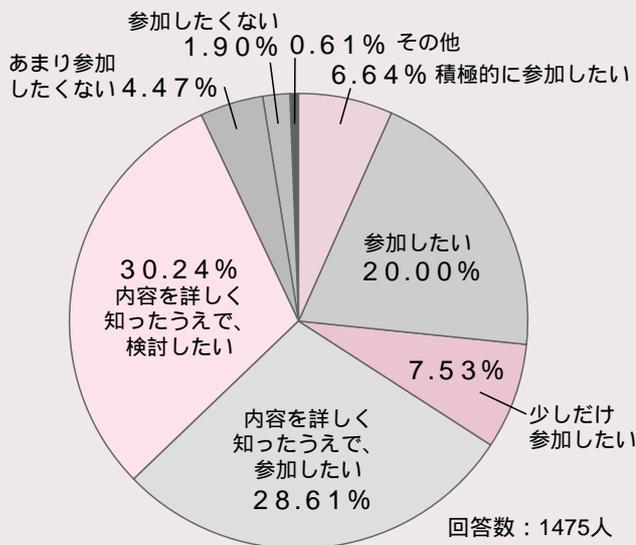
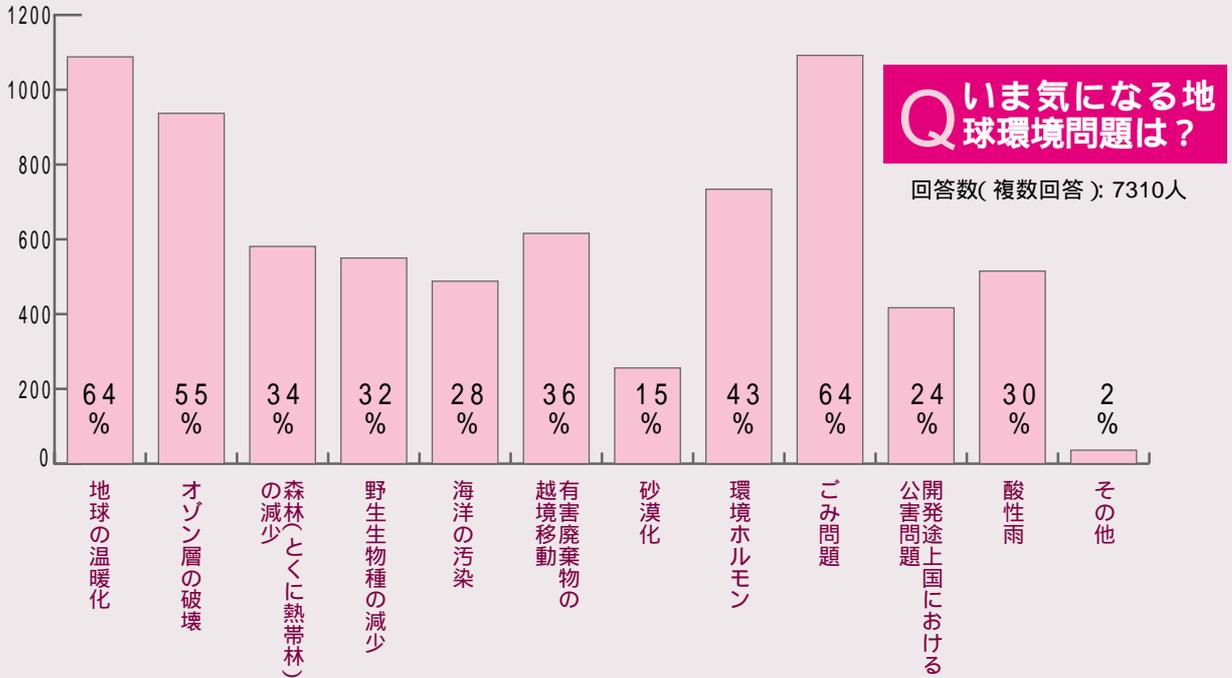
子どもの健康のため
今できることやっています
山影智子さん（日誌）



子どもの環境を考えると、改善しなければならぬ点が多いと思います。道路はよくなりませんが、反面子どもを安心して遊ばせられる安全な場所が少なくなりました。昔いた虫がいまは見られなくなったりと、環境の変化が私たちを含めた生物にどんな影響を与えているのか…。

ですから自分が今できるごみの分別のほかに、リサイクル、ダイオキシンの出ない安全な商品を選ぶようにしています。ただ手軽に買えるものが少ないのが悩みです。メーカーでも取り組んで入手しやすいようになればいいですね。

気になる環境問題・興味ある有機資源循環計画



Q 町が行う有機資源循環型社会への取り組みに参加しようと思う？

いま一番気になるのはごみ問題、地球環境問題のアンケートで出た結果です。コラムで紹介した家電リサイクル法のほか、国や県でもさまざまな環境問題への取り組みが本格化しはじめ、皆さんの関心の高さが伺えるアンケート内容でした。

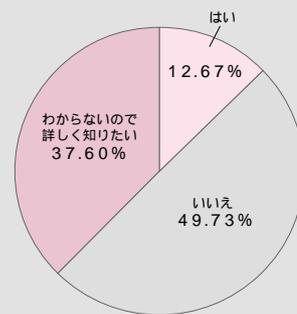
一方、全国から注目される有機資源循環型社会への取り組みに関しては、積極型が二割で、六割が内容についての詳しい情報を求めているという結果となりました。

現在、有機資源循環については試験や説明会、フォーラムが本格的に動き出しています。今後紫波ネットをはじめ、いろいろな形で情報を紹介しますのでご注目ください。

平成13年春施行「家電リサイクル法」とは

従来廃棄されてきた家電製品にもリサイクルの波がやってきました。それが「家電リサイクル法」です。この法律は テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機の4品目について、リサイクルを義務づけるもので、不要になった対象機器を小売業者が引き取り、最終的にはメーカー側が再商品化します。

処理にかかる費用は消費者・小売・メーカーで負担することになり、今後負担費用についてメーカーなどから発表があるものと思われます。



回答数: 1500人

Q 家電リサイクル法
って知ってます？



清掃ボランティア 西部開拓線でごみ拾い

西部開拓線は郊外を走る町道地区ですが、観光客もたくさん訪れます。そこで町内外の皆さんに好印象をもたれる道路とするため4月15日土木課職員が清掃ボランティアとしてごみ拾いを行いました。拾われたごみは主に空き缶で約150袋、4トントラックと2トントラックにいっぱい量でした。



きれいな町目指し 一斉清掃活動

4月16日町内各地でクリーン紫波運動一斉清掃が行われました。これは平成4年から年2回行われています。今年も8月に2回目の一斉清掃を行う予定です。



ごみの不法投棄撤去に バイ捨て監視員奮闘

ごみのバイ捨て監視員が発見した、33カ所のごみの不法投棄個所のうち、石鳥谷町との境の犬淵地内の国道4号沿いで4月22日一斉清掃が行われました。清掃にはごみバイ捨て監視員と町担当課職員、回収業者など約50人が参加。集まったごみは、可燃ごみや不燃ごみ約100袋、廃車1台、洗濯機、冷蔵庫、テレビなどの家電製品、廃タイヤ46本など。11月ごろにも、清掃を予定しています。



前ページの「町が行う有機資源循環型社会への取り組みに参加しようと思う?」という設問を受けて、紹介するのが下のアンケートです。

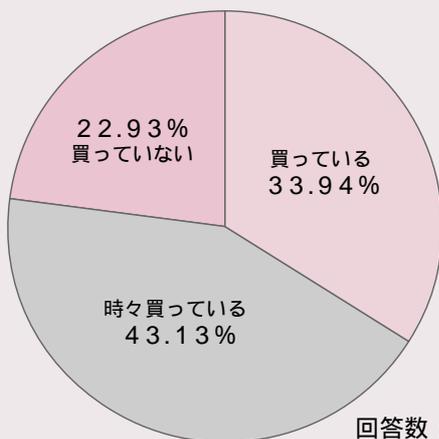
有機資源循環型社会とは、生ごみなどをたい肥化して農作物を作り町民に還元する。健康と安全な食物の供給と付加価値の高いもの作りを目指しているものです。

では皆さんは有機栽培の食品や生ごみからのたい肥、さらにそれに伴う分別の負担増などをどう思っているのでしょうか。その結果が下のアンケートです。無農薬・有機栽培の食品に関しては八割近くの人が購入の際に意識していることがわかります。またたい肥に関しても八割の人が抵抗がなく、そうした場合の不便・めんどろについては六割以上が容認というアンケート結果でした。

コンポスト容器

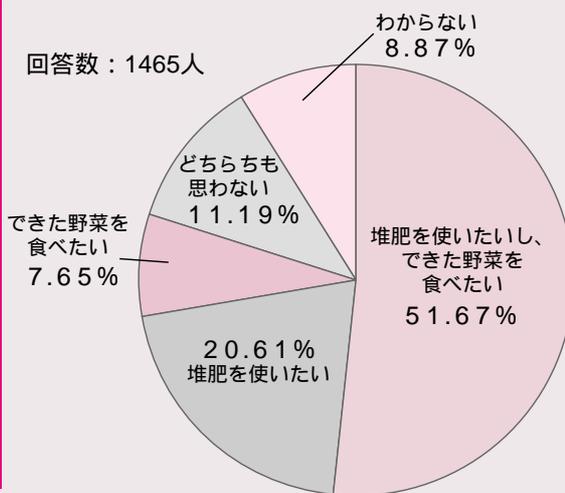
町では家庭用コンポスト購入にごみたい肥化処理器補助金を実施しています。大きさは150ℓから300ℓまでの3種類、いずれも1基2000円の補助金となっています。昨年は220基44万円の補助をしています。今年も6月ごろに行政区長さんを通じて各世帯に注文書をお渡ししますので、ご利用ください。

Q 無農薬や有機栽培の野菜や果物を買う?

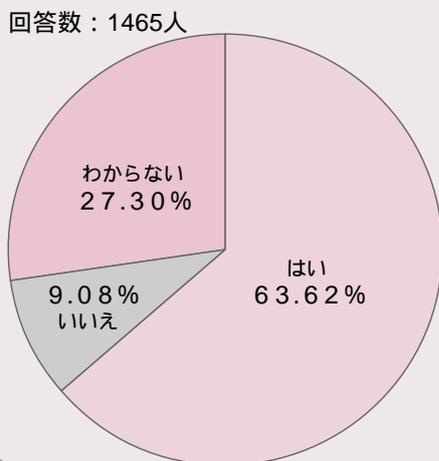


八割の人が有機栽培・無農薬の食品に興味があり六割の人が環境のためには不便やめんどろも容認

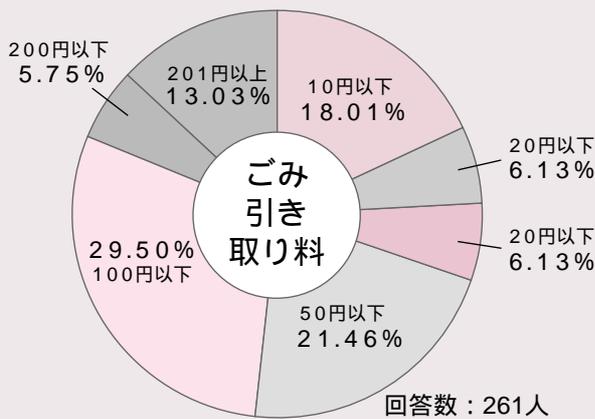
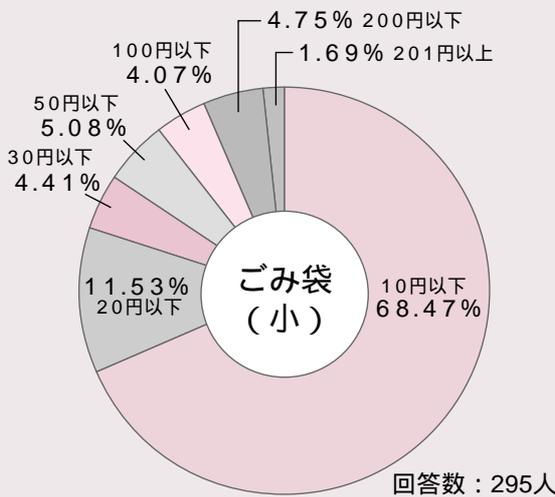
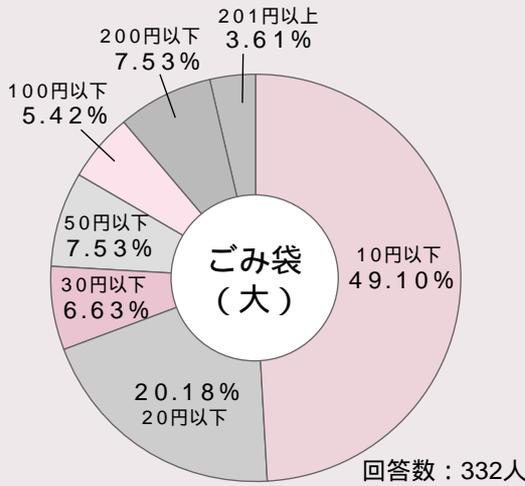
Q 生ごみからできたたい肥を使った野菜を食べたい?



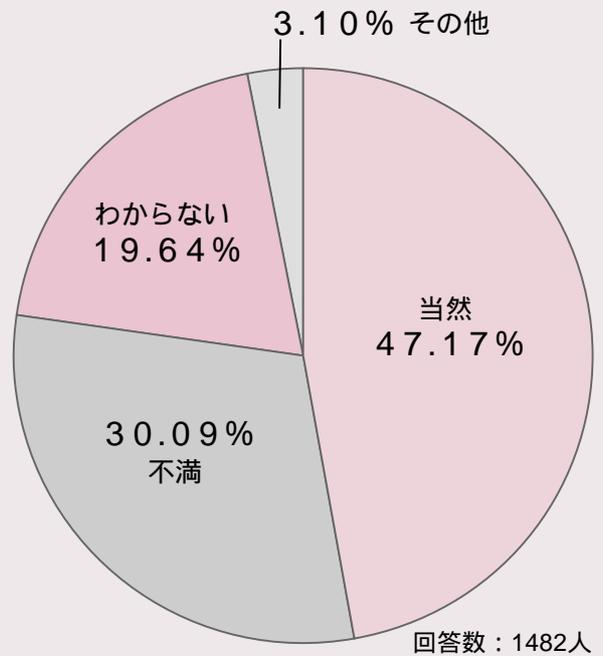
Q 環境を守るためなら不便やめんどろは仕方ない?



Q (当然と答えた人へ)
ではいくらならOK?



Q
ごみを処理するためにお金を負担することは当然？ 不満？



ごみ処理金額の負担は当然？ 不満？
当然なら金額はいくらが妥当？



ごみがあつたら拾う町民の意識改革必要
赤川軍司さん(中島)

よく散歩をします。するといつも汚れているところがあります。かつて駅舎の状態を巡回点検して歩きましたが、壊れかけていると壊す、汚れているとさらに汚すということがよくありました。人間の心理かもしれませんが、私はごみがあつたら拾うという意識改革が必要だと思います。

決められた袋に決められたごみを入れ、決められた日に出す。そんなに難しいことではないと思う。指定ごみ袋が導入されたときも、最初足並みがそろわなかった地区も今は普通にできるようになった。町では「ごみポイ捨て禁止条例」というハード面を作ってくれた。今度は町民の意識の問題。やはり皆の意識改革が必要だと思います。

家電リサイクル法など、リサイクルに関する負担が現実のものとなってきました。そこで、ごみの有料化に関するアンケートが上記です。

ごみの処理にお金を負担することに對しては五割近くが当然、三割が不満という回答でした。いままで税金によりまかなわれていたことで、目に見えなかったごみ処理料が、実際に現実のものとなると抵抗感がある人も多いようです。当然と答えた人でも適当な金額となると低額が圧倒的な数でした。

町ではこうしたアンケート結果を分析し、よりよい環境づくり役立て、皆さんの生活がよりよいものになるよう活用していきます。



6～9月

公民館の 教室・講座

今年も各公民館で、さまざまな教室や講座を開きます。それぞれ工夫を凝らした内容になっていますのでぜひご参加を。



日 詰 公民館

TEL/FAX 672-3372 有線 01-8942

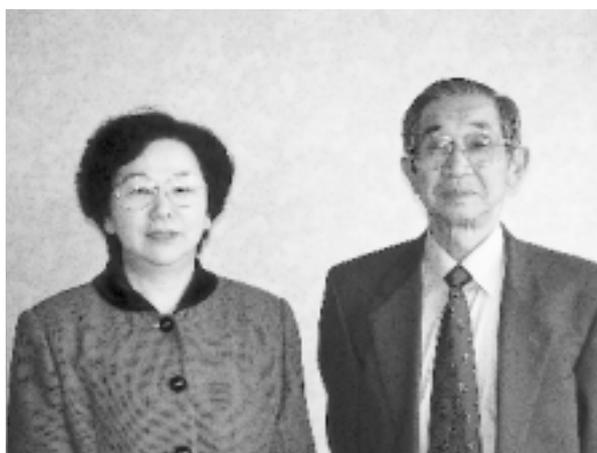
教室名	期 日	時 間	備 考
古文書教室	第3土曜	午前10:00～	近世古文書の解説と解説。その時代背景の学習
水彩画教室	第2・4水曜	午後1:30～	絵手紙から風景画・自画像など
陶芸教室	月2回	午後1:30～	様々な技法で自由な作品づくり。6月から開講予定
ハーモニカ教室	月2回	午後1:30～	身近な楽器ハーモニカで童謡から懐かしいメロディを
カメラ教室	月2回	午後1:30～	自分のカメラで基本操作から
こども・気分講座	年5回	不定期	絵本や児童書を通して、子どもの心を育て家庭教育を考える。就学前の子どもと親、本好きな人、大歓迎



指導員 鈴木由利子

館長 松田駒次

指導員から一言 今年は「こども・気分講座」など、子どもの心を育てる講座に力を入れ、少しずつ成果が上がるように続けていきたいと思えます。指導員としては、まだまだ未熟ですが、失敗を恐れず、前向きに少しでも目標に近づいていきたいと思えます。



指導員 横澤育子

館長 加藤義男

指導員から一言 幼児から高齢者まで気軽に参加できる学習の場として、皆様のご意見やご要望なども取り入れて教室や講座を準備しております。今年度は児童を対象にした新しい教室も計画しました。ぜひ公民館へいらしてください。

古 館 公民館

TEL/FAX 676-2323 有線 01-2102

教室名	期 日	時 間	備 考
フレッシュコーラス教室	毎週火曜	午後7:30～	コーラスの楽しさを実感
新舞踊教室	毎週火曜	午前10:00～	歌謡曲で楽しく踊ります
書道(昼)教室	第1・3火曜	午後1:30～	「北光」で指導
書道(夜)教室	第1・3金曜	午後7:30～	「北光」で指導
詩吟教室	第2・3・4月曜	午後7:00～	声を出して壮快に
吟舞教室	第2・4土曜	午後7:00～	踊って健康増進
エアロビクス教室	毎週木曜	午前10:00～	体を動かして若返り
押し花教室	第2土曜	午後1:30～	押し花の基本から指導
陶芸教室	毎週土曜	午後1:30～	自由作品に挑戦



指導員 武田洋子 館長 坂本崇宏

指導員から一言 今年度も「地域で子育てを」親子共同参加の事業に“力”を。東根山登山、年代別読書体験（読書まつり）、親子キャンプ、親子資源リサイクル講座、親子読書交流、親子自然観察会…。地域の親子の体験的学習に参加しませんか。

水 分 公民館

Tel/Fax 673-8222 有線02-3524

教室名	期 日	時 間	備 考
草木染講座	随時(平日)	午前9:30～	植物を使い染物の基礎
洋裁教室	第2・4木曜	午前9:30～	基礎製図（原型）洋裁実技
健康紫水会	随時(平日)	午前9:30～	地区の史跡散策と健康食作り
和服着付教室	第2・4月曜	午前9:30～	普段着、礼装、帯結び実技
水中健康教室	第2・4水曜	午後1:30～	水中で体力作り。温水プール
陶芸教室	第1・3金曜	午後1:30～	世界で一つオリジナルの陶器
史跡と自然を	随時(平日)	午前9:00～	史跡と植物の探索
水泳教室	第4金曜	午後7:00～	初心者歓迎。温水プールで
書道教室	第1・2月曜	午後7:30～	「北光」で指導

志 和 公民館

Tel 673-7111 Fax 673-8384 有線03-5223



指導員 鷹鷲関雄 館長 細川 昇

指導員から一言 農協志和支所、生活会館の全館を利用して公民館活動を行っています。志和の風土と先人が築いてきた文化を土台に、だれでも気軽に参加できる公民館事業を進めます。「公民館に寄ればやさしい志和の風」

教室名	期 日	時 間	備 考
洋裁教室	第3土曜	午前9:30～	洋裁の実技
川柳教室	第4土曜	午前9:30～	川柳の作句、大会参加
高齢者写真教室	不定期	午前9:30～	初級の写真技術
押し花教室	第3火曜	午前9:30～	押花の実技
和紙ちぎり絵教室	月1回	午前9:30～	ちぎり絵の実技
夏休み子ども教室	8/3、8/5	夜	夢あかりづくり



指導員 山内玲子 館長 佐々木忠夫

指導員から一言 公民館は世代や仕事にこだわらず交流できるのが良い点だと思います。私は講座のコーディネイト役だと思っていますので、皆さんも参加してみませんか。

赤 石 公民館

Tel/Fax 676-3999 有線04-6161

教室名	期 日	時 間	備 考
ダンス教室	毎週木曜	午後7:00～	社交ダンス
3B体操教室	第2・4火曜	午後1:30～	ボールなどの道具を使ったリズム体操
茶道教室	第1・3水曜	午後1:00～	表千家薄茶点前
着付教室	毎週火曜	午後7:00～	着付けの実技
木彫教室	第3土曜	午前9:00～	小物から指導
生花教室（夜）	第3木曜	午後7:00～	池坊
生花教室（昼）	第1金曜	午前10:00～	小原流

彦部 公民館

TEL/FAX 676-4670 有線01-6698

教室名	期日	時間	備考
日本画教室	第3月曜	午前9:30～	初回6月19日 スケッチから仕上
生け花教室	第4木曜	午前11:00～	初回6月22日、小原流
陶芸教室	第2・4 火曜	午後1:30～	初回6月13日 彦部我夢路工房
表具教室	第3水曜	午前10:00～	初回6月21日 裏打～掛軸仕上
健康体操	第2・4 水曜	午後1:30～	水中運動、ラ・フランス温泉館プール
カラオケ	第3水曜	午後7:00～	随時入会 年会費3,000円
なぎなた	毎週火曜	午後6:30～	基礎練習
夢灯かり コンサート	8/8(火)	午後6:30～	夢灯かり行灯などを灯も しながらのコンサートと 昔話



指導員 赤川安子 館長 佐藤嘉吉

指導員から一言 4年目の環境問題学習講座の実践活動として、青少年の自然観察会・ふれあいウォーキングなどの実施により、人間が自然から多くを学び、自然と共存し自然を大切にすることを次世代に伝えていけたらと思います。



指導員 佐々木栄子 館長 石柱祥夫

指導員から一言 過疎化が進む地域の実情から、地域外の皆さんとの交流を大きく求め、常に自然の豊かさをフルに活用した学習活動の企画を目指しています。また古里づくりの金山太鼓にも皆様のご参加を歓迎いたします。

佐比内 公民館

TEL/FAX 674-2626 有線05-7337

教室名	期日	時間	備考
竹細工教室	毎週木曜	午後1:30～	竹取りから製品まで
草木染教室	月1～2 回(火曜)	午前9:30～	身近にある植物を使用
シルバー 太鼓教室	5～9月 の木曜	午後3:30～	金山祭をめざして
レディース 太鼓教室	6～8月 の火曜	午後7:30～	
レザー クラフト教室	第1・3 月曜	午後7:30～	小物からバッグまで
	第2・4 月曜	午後1:30～	

赤沢 公民館

TEL/FAX 676-3036 有線06-7952

教室名	期日	時間	備考
書道教室	第1・3 水曜	午後7:00～	毛筆・硬筆を 「北光」で指導
歌謡教室	第4水曜	午後7:30～	演歌、歌唱指導
園芸教室	平日4回	午前9:30～	家庭園芸の基礎
表具教室	月1回 曜日未定	午前9:00～	掛軸



指導員 田村幸子 館長 藤島恒夫

指導員から一言 私にできることは限られていますが、「進め、さらに1歩」を心に、地域の皆さんと楽しく、おもしろく参加できる公民館行事を考えて活動していきたいと思っています。

長岡 公民館

Tel/Fax 676-3789 有線07-8226

教室名	期 日	時 間	備 考
チビッコ 民謡教室	第2・4 火曜	午後7:00～	各種ステージ目 指して練習中
チビッコ おどり教室	毎週土曜	午後6:00～	若柳流
パッチワーク 教室	第2・4 金曜	午後7:30～	自由作品
詩吟教室	第2土曜	午後2:00～	大きな声で健康 づくり
和裁教室	毎週水曜	午後7:00～	和裁の基礎を 学ぶ



指導員 横沢きく

館長 稲垣善男

指導員から一言 指導員を引き受け6年目。婦人会や高齢者クラブの皆さんに助けられながら“地域の子どもを地域で育てよう”をモットーに青少年事業に力を入れています。“地域が家族”その拠点である公民館を目指して奮闘中。

教室名	期 日	時 間	備 考
織物教室	土曜 10回	午前10:00～	裂き織りなどさまざ まな織り方を学習
中国語講座	月2回 火曜	午後1:30～	中国語の基礎学習 (初級)
紫波 平成大学	6月30日 (日)	午前9:30～	高齢者講座(60歳 以上)
しわ ボランティア スクール	6月30日 (日)	午前9:30～	講話から実技まで地 域ですぐに役立つ内 容

中 央 公民館

Tel/Fax 672-3372 有線01-2922

長谷川利夫新館長
7年間の日詰公民館
長としての経験を生
かし、ますますの活
躍が期待されます。



勤労青少年ホーム

で交流の輪を

会員
募集中

〔入会 手 続〕

申込方法 利用登録申請書(役場と勤労青少年ホームにあります)に記入の上、勤労青少年ホーム事務室へ直接お届けください。

入会金 年会費千円

〔内訳〕 傷害保険掛金五百円
自治会費 五百円

会費は入会手続きと同時に納入してください。

申込期限 原則として年中受け付けていますが、長期講座受講希望の人は講座開設の都合上、五月中旬ごろまでに申し込みください。

講座は定員になり次第締切りしますので、お早めに申し込みください。

長期講座 六月上旬から開設予定です。

短期講座 随時開設しますので、その都度募集します。

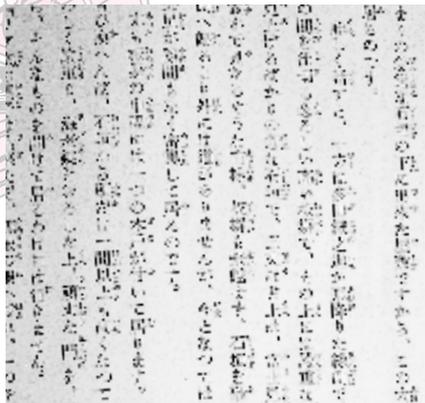
問合せ 紫波町勤労青少年ホーム
☎ 676・234 または紫波町役場
☎ 672・211 内線433
有線01・3134

「勤労青少年ホームは働く皆さんの心をいやす所」佐藤國雄新館長



紫波文学館 胡堂の贈りもの

独自の文体
「です・ます」調への
こだわり



昭和二年発表の『奇談クラブ』

「困りますね。普通の文章にしてください」 編集者からクレームがついたのは、胡堂の「です・ます」調文体についてでした。しかし胡堂は動じず、日常生活の口調そのままに書き続けました。日本語は話す言葉と書く言葉を一緒にしなければ文化の妨げになると考えたからです。

長年の寄席通いから生まれた何度聞いても飽きのこない落語の語り口と、講談の簡明なスピードを持つ胡堂独自の「です・ます」体。昭和2年に発表された『奇談クラブ』が、日本初の口語調文体の小説でした。そして小説を書くときには生涯この文体を貫いたのでした。

庶民に愛された胡堂の精神がここにあるといいでしょう。それは現代でも『銭形平次捕物控』をはじめとした作品が読み継がれていることでも証明されています。

(野村胡堂・あらえびす記念館 石川一子)

紫波投稿文芸館 連載小説

なた 鉦の黒岩

作 / 遠山英志 挿絵 / 竹田千穂子 (岩手町)



紫野出身の遠山英志さん(盛岡市)から投稿いただいた郷土力士・黒岩川右衛門が主人公の小説「鉦の黒岩」。いよいよ今回から連載開始です。

第一話 仏壇返し

安永四年十月、深川八幡宮境内の土俵に黒岩は登場した。南部藩のお抱え力士として東の小結に付け出された黒岩の初日の対戦相手は八雲山であった。黒岩はさつととび込み、八雲山の前みつを取って引きつけた。両肘を体につけ、押むような格好から八雲山を土俵際に追い詰めた。俵に両足をかけた八雲山は懸命に踏ん張った。その時、黒岩は自分の額を八雲山の腹につけたまま、一気に持ち上げた。八雲山は黒岩の頭越しに回転して背中からドスンと落ちた。この仏壇返しに大喝采が起った。どよめきはしばらく消えなかった。

黒岩の体はあんこ形でがっしりしていたが、小兵であった。少年時代、黒岩は薪なら一棚を背負った。一棚とは高さ六尺、長さ六尺、幅三尺三寸である。米なら九駄片馬を背負った。一駄は馬一頭に負わせた荷物であり、片馬は馬一頭に負わせる荷の片方である。従って話半分の量としても四俵背負ったのである。授業料としてクツ脱ぎ石を担いだ時は、一町の距離を歩いた。これ程の力を発揮する少年が成長すれば、剛力無双になるのは当然のことである。

二日目は休みであった。三日目の対戦相手は巨豪の伊勢ノ海である。この時、黒岩は鋭く踏み込むと、左はず、右おっつけの形で一直線に走る速攻相撲を見せた。土俵際に詰まった伊勢ノ海は、回り込んで体を入れかえた。勝負どころとばかり、こねるように押し立てる。だが、十分に腰を落とした黒岩は額を伊勢ノ海の腹にびったりくっつけ、両前みつを一気に持ち上げた。ふわりと浮かんだ伊勢ノ海の体は、ゆっくりと大きな弧を描いて背中から落ちていった。割れ返るよう

などよめきが起った。

この仏壇返しへの対応策が各力士間でじん速に、かつ徹底的に研究された。土俵の真ん中で自分より小さな力士にひっくり返されるのはだれしも望むことではないからである。

黒岩は相手が小兵でも決して注文相撲は取らず、真つ正面から立ち向かうことにしていた。巧くとびこんで前みつを取り、頭をつける体勢になれば、自分の相撲が取れたからである。これに対して、長身の力士は黒岩を突き放す作戦を取った。重量の力士はのど輪も多用してくる。性格上、いなしやはたきできない黒岩が、潜れないとなれば苦しい。意気込みが空回りしてくるのである。

黒岩は五日目の達ヶ関(後の谷風)戦、六日目の虹ヶ嶽戦とも、潜り込めずに連敗した。結局、この場所における黒岩の成績は二勝二敗一引き分け一預かり三休であった。優勝力士の稲川とは取り組みがなかった。

安永五年十月、黒岩の番付は東前頭筆頭であった。千秋楽(八日目)の対戦相手は稲川であった。西五枚目の稲川は千田川、友綱、越ノ海とともに、当時、四天王と称せられていた。近松半一、三好松洛、竹田文吉、八民平七、竹田小出雲、竹本三郎兵衛の合作で明和四年、竹本座で初演した人形浄瑠璃の世話物、関取千両職の主人公、岩川のモデルは稲川であった。姫路侯のお抱え力士で大坂では頗る人気のある稲川だが、既に力士としての味を越しつつあった。腕力や握力は黒岩が上である。けれども、土俵度胸は稲川が遙かに上であった。黒岩を最初から呑んでいた。

核家族化や女性の社会進出が進む中、共働きのお父さんお母さんにとって、子育ては大きな問題です。日中はだれに子どものめんどうをみてもらうのか。もし残業になったらどうすればいいのか。そんな悩みを解決してくれるのが保育所であり、保育士の皆さんです。

今回2回目となる「お仕事おじゃまします」は保育の現場で活躍する保育士に密着しました。飛んだりはねたりと大騒ぎの子どもたちの中でも余裕の姿は、「さすがプロ！」と思わせる頼もしさにあふれていました。

お仕事おじゃまします

新しくなった古館保育所で
保育士に密着取材



【午前8:30】

日勤の佐藤さん出勤

日勤の先生が出勤。5歳児の担任佐藤久美さんもその一人。それぞれ自由に遊ぶ子どもたちに声をかけます。子どもたちも自然と佐藤さんの周りに集まって来ます。



【午前7:25】

親子が到着

最初の親子が到着し、早番の先生がお出迎え。お母さんから体調や担任の先生への連絡も受けます。特に8時前後は受け入れのラッシュ。最近はお父さんの送迎も多いよう。



【午後12:50】

寝顔がかわいいお昼寝寝付けられない子どもの側で、眠るまで体にさわってあげます。あちこちでかわいい寝息が聞こえてきました。佐藤さんは子どもたちが寝ている間にも事務の続きをします。



【午後12:40】

家庭への連絡事項記入 子どもたちがパジャマに着替え、お昼寝前の紙芝居を見ている間に、カーテンを引いた暗い部屋で一人ひとりの連絡簿にその日の様子や連絡事項を記入。



【今回おじゃました仕事場】 古館保育所

4月に定員60人から120人に増員され、育児相談なども行う子育て支援センターが設置された古館保育所におじゃましました。保育所では朝7時30分から子どもを受け入れ、夜7時までの延長保育も受け付けています。保育士は正職員のほか臨時、パートを含め27人。早番、日勤、遅番とフル回転の皆さんです。

何より子どもが大好きで優しさと体力
 気持が健康であること

今回、密着取材させていただいたのは佐藤久美さん。保育士になって十二年。とにかく子どもが大好きという佐藤さんは、五歳児二十九人のききょう組を一人で担当しています。

「おやつ準備をして」佐藤先生は決して大きな声を出しません。あちこちで遊んでいた子どもたちが、小さないすを持ってさっと集まったのには驚きました。「五歳児は生活の面では自立しています。ただ納得しないと行動しません。だから大人と同じようにちゃんと話をします」と佐藤さん。

遊び、食事、昼寝、片づけといった基本的な生活や集団のルールなど、常に子どもと一緒にのんびりとした生活や判断力が要求される仕事です。

「気持ち健康でなければとまらない。保育所は毎年新しい出会いがあり、一人ひとりの成長を目にすることができるのが喜び」と話す小笠原所長さんの笑顔が印象的でした。

ここで紹介したのは仕事のほんの一部。側で見ていると、とても大変な仕事という印象を強く受けました。

町の保育所ア・ラ・カルト

町には五カ所の保育所と地域の幼児保育型の児童館四カ所があります。中でも中央保育所と古館保育所は六カ月の乳幼児から預かる数少ない施設。この二つの施設はほぼ定員いっぱい状態、三歳未満児の割合も全体の三割を超えています。また乳幼児を持つ親子を対象とした育児相談、これからお父さんお母さんになる人を対象にした保育所の見学など、さまざまなサポートが行われています。

子育てで悩んでいる人、保育所の子ともと遊ばせたいという人は、ぜひお気軽にご相談ください。



【午後12:15】
 外遊びタイム

「大きいお兄さんたちのところへ行こう」と泣いている2歳児をだっこして、子どもたちの遊びを見守る。「外に出たとたん、子どもたちは開放的になるんです」



【午後12:10】
 歯みがきはしっかり

おいしい昼食（豪華！スタッフもいただきました）の後は「しっかりみがいてね」と歯みがき。忙しく流しのまわりを拭きながら、子どもたちに声をかけます。



【午前11:15】
 小さなお椀で昼食準備

小さなお椀にスープを盛り、おかずと一緒に配膳。「熱いから気をつけて」一人ひとりに声がけ。この間に手のあいている人や用務員さんによって布団が敷かれ、昼寝の準備。



【午前10:00】
 月に一度の誕生会

行事は進行や音楽、ゲーム担当など、それぞれ役割分担で進めます。「小さいお友だちの手をつないであげて」ゲームに熱中する子どもたちに気を配ります。



【午後3:55】
 お帰りの準備

一番早いお迎えは4時過ぎから。家庭へのお知らせなどを子どもたちに渡し、お迎えまでの時間一緒に遊びます。この後、遅番の先生に交代し、保育は7時まで続きます。



【午後3:30】
 うれしいおやつの時間

今日のおやつは草もちとヨーグルト。食べた後のスプーンとごみは一人ひとりに片づけさせます。（昼食に続きスタッフもご相伴に。ここに通う子どもがうらやましい...）



【午後2:00】
 職員会議で意見交換

月に1度の職員会議。勤務表や行事、子どもたちの様子などを話し合います。そのほか3歳児以上の会議、未満児の会議、必要に応じて打合せ会を行い連携して保育します。



【午後1:50】
 保育相談者が来所

引越したての親子が広報を見て来所。子育て支援センター専任の清水千里さんがお話を聞きます。一緒に来た子どもに「おもちゃで遊んでいいよ」と声をかけながら。



知ろう 話そう 行動しよう

環境新世紀

6月2日～4日に開催される環境イベント「～知ろう 話そう 行動しよう～環境新世紀」の具体的内容が徐々に

に決まってきました。訪れる多彩なゲスト、ユニークな催しなどで、自分の住む町の魅力を再発見してください。

六月二日～四日は町制施行四十五周年記念の環境イベントが開催されます

一日(金) 午後四時～五時三十分
環境トーク **環境と福祉の町づくりをめざして**

「新たな豊かさ」と潤いある住みよい地域社会の形成」を基本理念に取り組んでいる当町を話題の中心に、住みよい地域社会とはどんなものなのかを語り合います。
【出演者】
C・W・ニコルさん
増田県知事
藤原町長
【コーディネーター】
篠原孝さん(農業総合研究所研究調整官)

四日(日) 午後十二時三十分～三時
エコロジーアクション **紫波町探検隊**

地元や町外のこと私たち、町や自然についてのエキスパートなどがテーマごとに分かれ、デジタルカメラで体験を記録し、総合会場で発表してもらいます。きつと新しい発見があるはずです。

【エリア1 山屋峠】自然と山の仲間
ツキノワグマの生息地でもあるこの地での暮らしぶりを聞きます。

【エリア2 五ツ森】トトロの森を行く
植林と自然林が混合する里山で、旧家を訪ね地名の由来などを聞きます。

三日(土) 午後三時～四時四十五分
セッション **循環型社会への具体策提案**
循環型の町づくりに欠かさない要素とは何かをゲストから提案してもらい、循環型社会構築への具体的な行動と活動を探ります。ステージ上にとどまらず、客席からの質問や提案も受けつけます。
出席者…郡島孝さん(同志社大学経済学部教授) / 篠原孝さん
(農業総合研究所研究調整官) / 洪澤寿一さん(環境NPO「聚」樹木・環境ネットワーク協会専務理事) / 小苅米淳一さん(全国スーパーマーケット協会岩手県会長) / 飯島博さん(霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議事務局) / 小野紀之さん(NPO法人環境学習研究会副理事長) / 藤原町長

【エリア3 佐比内】伝説の森を訪ねて
隠れキリシタンの伝説や金山跡を探検するエリア。
【エリア4 陣ヶ岡】田んぼの不思議発見！
田んぼに囲まれたエリアで、小さな生き物たちとの出会いを探検します。

【エリア5 水分】木々と語ろう
こんこんと水が湧く杉木立に囲まれた水分神社を中心としたエリアで木々を中心とした自然にふれあいます。

多彩なゲストが来町します
霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議
事務局長 飯島 博さん

地域の学校や企業、森林所有者、市町村などと連携し、水草のアサザ群落再生事業を中心に「百年後にはトキの舞う湖」を目指す活動を続けています。朝日新聞「明日への環境賞」受賞。

NPO法人環境学習研究会
副理事長 小野紀之さん
環境への関心があるなにかかわらず、みんなで一緒に考えることができるプログラムを企画実施。都会における自然と暮らしの関わりを考えながら、町づくりに取り組んでいます。

イベント・プログラム（一部内容が変更になる場合があります）

期日	時間	内 容
2日(金)		サブテーマ「住みよい地域社会とは」
	午後4時～ 午後5時30分	【環境トーク 環境と福祉のまちづくりをめざして】 会場：城山公園（雨天の場合勤労者総合スポーツ施設） 出演者：C・W・ニコルさん、増田県知事、藤原町長 コーディネーター：篠原孝さん（農業総合研究所研究調整官）
3日(土)		サブテーマ「地域からのメッセージ」
	午後1時～	1部 【環境シンポジウム】 会場：勤労者総合スポーツ施設 ～環境 循環 わたしの町の100年計画～ 町民と各地NPOの人々の環境へのチャレンジを発表 紫波町からの報告 私たちの知ろう 話そう 行動しよう - 1：「環境と福祉の町」 2：「えこ3ぷらんフォーラムからのメッセージ」 ①「えこ3ぷらんフォーラム」の行動計画 ②変えよう 変ろう 生活環境 ③自然と子どもたちの未来のために
	午後2時～	全国の報告 私たちの知ろう 話そう 行動しよう - ①「36000人の子どもたちの夢」茨城県報告 霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議 ②「住む人が守る自然環境」東京都大田区からの報告 NPO法人環境学習研究会
	午後3時～ 午後4時45分	2部 【セッション】 ～21世紀の循環型まちづくりをめざして～ パネリスト 郡 篤 孝さん（同志社大学経済学部教授） 篠原 孝さん（農業総合研究所研究調整官） 洪澤寿一さん（樹木・環境ネットワーク協会専務理事） 小苺米淳一さん（株式会社ジョイス代表取締役） ほかに「えこ3ぷらんフォーラム」メンバーも参加 藤原町長ほか第1部発表者と会場のすべての人
	午後5時～	交流会
		展示・体験
		【エコぎゃらりーin紫波】 会場：紫波町勤労者総合スポーツ施設「サン・ビレッジ紫波」 企画展 ロビー＆総合会場内 写真＆絵画展 「残しておきたい私の紫波」 バザール 町特産品の販売 環境映像展 映像で知る自然の不思議、驚き（4日のみ） 環境派学生による「エコロジーゲーム」（4日のみ） *交流会（3日） もちモチ王国紫波ひめ隊によるもちつき、日本酒の利き酒会などをゲストとともに
4日(日)		サブテーマ「見つけよう 私たちの紫波」
	午前10時～ 午前11時30分	【エコロジーアクション 動植物のための植栽】 会場：農業公園・フルーツパーク 1：18haの赤松・雑木林へ野鳥が好む花木を植林 2：1,000本の野草、花きの植栽
	午後12時30分～ 午後3時	【エコロジーアクション 紫波町探検隊】 5つのテーマで自然と暮らしのかかわりを体験し、自分たちの暮らしや町のあり方を考える 【エリア1】山屋峠 ～自然と山の仲間～ 【エリア2】五ツ森 ～トトロの森に行く～ 【エリア3】佐比内 ～伝説の森を訪ねて～ 【エリア4】陣ヶ岡 ～田んぼの不思議発見！～ 【エリア5】水 分 ～木々と語ろう～
	午後3時30分～ 午後5時	【フィナーレ 未来に伝えたい いのちの輝き】 1：紫波町探検隊の発見を発表 2：テーマソングの披露 3：参加者からのメッセージ・町民から 4：参加者からのメッセージ・ゲストから 5：町長の未来宣言



メイン会場は紫波町勤労者総合スポーツ施設（サン・ビレッジ紫波）



植樹などが行われるのは新しくできたふれ合い広場側のフルーツパーク



風船の芸術に感動 もちまきに歓声

町観光協会が主催する第二十九回城山桜まつりは、四月二十三日から五月五日までの間、城山公園で開催されました。歌謡のど自慢大会や民謡王座決定戦、生バンド演奏など各種イベントが行われた初日は、肌寒く時折雨が降るあいにくの天候。しかし初めて行われたパルーンアートでは、風船で作る動物や色とりどりの

最後はやっぱりもちまきで決まり(上写真) パルーンアートは子どもたちに人気(左写真)



の珍しい形の風船がふくらむ様子に、集まった子どもたちのにぎやかな声が響いていました。また大勢の人が詰めかけたもちまき大会では、もちをまく人を募ったり、子どもだけを対象に行ったり、もちが宙に舞うたびに迎りは大きな歓声に包まれました。この日の人出は約二千人、期間中は約一万人が訪れました。

救命率の向上に期待 高性能救急車発隊式

紫波消防署に高規格救急車が導入され、四月一日高度救急隊発隊式が行われました。高度救急隊(今松修隊長・左下写真)は十四人中、四人が救急救命士の資格を持ち、直



接医師の指示を受けながら処置をします。年々複雑多様化する疾病ですが、高度な救命措置が可能な救急車の導入に救命率の向上が期待されます。盛岡広域管内としては四台目、町村としては初めての配置となりました。

統計調査員歴三十七年 総務庁長官表彰を受賞

事業所・企業統計調査員としての長年の功績が認められ、熊谷金悦さん(桜町)が総務庁長官表彰を受賞、四月四日報告のため藤原町長を訪問しました。熊谷さんは昭和三十八年から統計調査員として各種統計調査に従事され、町統計調査員協議会会長としても活躍されています。



竹の香もさわやか 日詰小に竹とんぼ

町内の子どもたちに昔ながらの遊びに触れてほしいと、川村長蔵さん(片寄)から四月十四日、日詰小学校(日高浩校長、児童三百五十七人)に手製の竹とんぼが届けられました。毎朝四時ごろからこつこつと作り貯めたという川村さん、昨年の児童施設に続き、今年は町内小学校に千七百本寄贈していただきました。

川村長蔵さん(右端)と日詰小学校の皆さん



新たな希望胸に 新体育館で入学式

紫波第二中学校(志村正義校長、生徒二百五十三人)では、四月六日完成したばかりの体育館で入学式が行われ、八十六人の新入生を迎えました。新一年生を代表し、佐藤真由美さん(彦部)が決意を述べました。

町内小中学校の入学者は、小学校三百八十一人、中学校四百三十二人です。



思ったよりかんたん パン作りに挑戦!

NHK文化講座が主催するパン作り教室が、四月十七日ラ・フランス温泉紫波交流プラザで、町内の主婦など約二十人が参加し行われました。小野寺恵先生は「パン作りは素材の良さと手早くやることが大切」とパン作りのコツを指導していました。また参加した主婦は「思ったよりかんたん、家で子どもに作ってあげたい」と喜んで話していました

小野寺恵先生と
真剣に作る皆さん



若さとパワーで団結 商工青年部記念植樹

町商工会青年部（熊谷利昭部長、三十七人）は結成三十五周年を記念し、昨年十月にオープンしたサン・ビレッジ紫波に、桜の苗木二十五本を植樹しました。施設の敷地内はまだ樹木が少ないですが、数年後にはスポーツやイベントで訪れる人の目を楽しませてくれることでしょう。



町の活性化に一役 代官所跡地に説明板

八戸藩代官所復元促進同盟会（佐々木嘉一郎会長）では、上平沢地区の代官所跡地に説明板を設置し、四月十五日除幕式が行われました。八戸藩の飛び地としての歴史を持つことを後世に伝え、町の活性化に役立てたいと作成されたもので、当日は会員百人ほどが集まり、完成を祝いました。



天神橋高欄こうらん きれいに整備

上平沢地区の滝名川にかかる天神橋の高欄の整備が完成し、四月十五日地元住民などが見守る中、渡り初めが行われました。天神橋は建設から五十年ほどが経過し、傷みが目立つようになっていたものの、地元企業などの協力もあり、新しく模様替えが実現しました。



新一年生の交通安全願い 紫波郵便局パンフ作成

紫波郵便局（石森善一郎局長）は、町内の小学一年生に「交通事故に気をつけて」など交通安全のメッセージやオリジナルスタンプを印刷したパンフレットを四百枚作成し、四月二十一日藤原町長に届けました。パンフレットは切手付きで町内の新一年生全員に配布されます。



子育て支援センター 希望を胸にスタート

古館保育所子育て支援センターのすくすく広場が四月二十七日開設されました。この日の天候は雨でしたが、九組の親子、十人の子どもが集まりました。「広くて自由に遊ばせられる」と集まったお母さんたち。また小笠原久子所長は「専任の保育士もいるので、誘い合っ

てどんどん遊びにきてほしい。親同士の情報交換や交流の場になれば」と話していました。子育て支援センターのすくすく広場は毎週木曜



平成12年は国勢調査が行われる年です

国勢調査に関しては総務庁統計局・統計センターのホームページでご覧になれます
URL <http://www.stat.go.jp/21.htm>



特別展「胡堂自筆絵画展 ~画家にあこがれて~」を開催しています。幼いころから絵画を描き、画家にもあこがれた時がある野村胡堂の人物画、風景画、旅先のスケッチなどが展示されています。

- ▶期間 5月28日(日)まで
- ▶入場料 入館料のみ
- ▶問合せ 野村胡堂・あらえびす記念館 ☎676-6896

INFORMATION

善意の窓 やさしい心ありがとう

紫波第二中学校第40回卒業生の皆さんは体育館設置用の校歌の額1基を同校へ

平成11年度日詰小学校卒業生保護者の皆さんはレインボーホール用暗幕一式を同校へ

阿部光雄さん(上松本)は電動ベッド1台とポータブルトイレ1台を町へ

岩手アピカ会(菅原一代表)は交通安全「通学路」のぼり旗22枚とポール11セットを町内各小学校へ

住川碧さん(東京都)は野村長一さんの通夜と告別式の録音テープ3巻を野村胡堂・あらえびす記念館へ

地域・家庭・学校が一体となって

紫波町中高生社会参加活動を推進

中高生社会参加活動も今年で17年目を迎えました。社会参加活動は地域の皆さんや文化、自然とのふれあいをとおし、地域社会の一員としてより健全な中高生を育てようというものです。各地区一体となり、時代のニーズに応える青少年の体験学習の場をつくっていきましょう。そして地域のみんで力を合わせ、よき伝統を築き上げましょう。

5月20日(土) 午後2:00から
は中高生の皆さんの活動日

5月20日の午後2:00からは中高生の皆さんの活動日になります。あらかじめ自主活動を考えて参加しましょう。(右表)

ご父兄の皆さんへ
各地区で育成会研修会が開催されます

社会参加活動の協力者である指導者、世話人の育成会研修会が開催されます。選ばれた皆さんは各地区の研修会に参加してください。

▶問合せ先 町教育委員会社会教育課 ☎672-3362 有線01-8941

指導者、世話人の育成会研修会

対象	日時	会場
上平沢・片寄地区	5月2日(火)	志和公民館
古館地区	5月10日(水)	古館公民館
赤石地区	5月12日(金)	赤石公民館
日詰地区	5月15日(月)	中央公民館
水分地区	5月15日(月)	水分公民館
彦部・星山地区	5月16日(火)	彦部公民館
赤沢地区	5月17日(水)	赤沢公民館
長岡地区	5月17日(水)	長岡公民館
佐比内地区	5月18日(木)	佐比内公民館

福祉の心を育てる活動
環境と地域づくりの活動
郷土理解のための活動
仲間づくりのための活動

5月20日 / 活動日会場

紫波一中学区

日詰地区	中央公民館
古館地区	
上町地区(1,2,9,10,19区)	上町公民館
下町地区(3,4,18区)	下町公民館
十日市地区(5,6区)	十日市公民館
十日市地区(13区)	中田集会所
十日市地区(14区)	古館公民館
中陣地区(7,8区)	中陣公民館
前郷地区(11,12区)	前郷公民館
桜田地区(15,16,17区)	桜田公民館
赤石地区	各自治公民館

紫波二中学区

彦部地区	彦部公民館
星山地区	星山小学校
佐比内地区	佐比内公民館
赤沢地区	赤沢公民館
長岡地区	長岡公民館

紫波三中学区

水分地区	水分公民館
上平沢地区・片寄地区	志和公民館

「町の文芸コーナー」は4月からお知らせ版に掲載しています。作品は毎月月末までにはがきで企画課広報係までお寄せください。

お知らせ掲示板

INFORMATION

うらかな春の一日を
東根山登山で気持ちよく

町と水分公民館が主催する第17回東根山登山が行われます。ご家族、グループの参加も大歓迎（小学生低学年は父兄同伴）ですので皆さんで新緑の東根山をお楽しみください。またラ・フランス温泉館の入湯券が当たる抽選会も開かれます。

▶日時 6月10日（土）午前9:00

（集合時間：午前8:30・小雨決行）

▶コース 温泉館から東根山頂まで往復7km（頂上まで約2時間30分）

▶集合場所 ラ・フランス温泉館（公園駐車場）

▶申込締切 6月5日（月）

▶申込・問合せ 水分公民館☎673-8222・有線02-3524 / 中央公民館☎672-3372・有線01-2922



INFORMATION

Shiwaウインド・アンサンブル
（町民バンド）団員募集！

昨年、吹奏楽を愛好する仲間が集まり、町民バンドが結成されました。ただ今、団員を募集しています。経験者はもちろん、初心者も大歓迎。興味のある人は気軽にお問い合わせください。

▶申込・問合せ 中央公民館☎672-3372 有線01-2922

INFORMATION

現代はストレスの時代
精神保健相談のお知らせ

「心の病気」で悩んでいる人や、その対応の仕方がわからない家族、お酒を飲んで周囲に迷惑をかけた、家族がボケてきたなど、さまざまな問題で困っている人を対象とした相談会です。気軽に相談してみませんか。

▶日時 5月26日（金）午後1:00～2:00

▶場所 保健センター

▶相談医師 伴亨先生

▶申込・問合せ 相談希望者は事前にご連絡ください。保健センター☎672-4522 有線01-8991

INFORMATION

アルコール依存症から脱出
アルコール家族教室案内

アルコール依存症の人を家族に持つ人を対象に、アルコールやアルコール依存症についての知識を持つとともに、飲酒による問題行動への対応を学び、家族の健康を回復するプログラムです。個別相談も行っていますのでどうぞご利用ください。

▶日程 第1回 5月26日（金）/ 第2回 6月9日（金）/ 第3回 6月21日（水）/ 第4回 7月14日（金）/ 第5回 8月11日（金）/ 第6回 9月8日（金）

▶主な内容 アルコールとアルコール依存症についての知識 回復について 話し合いなど

▶時間 午後1:30～3:30（第1回の教室のみ午前10:30～午後3:00）

▶対象 飲酒の問題やアルコール依存症の問題がある人の家族（プライバシーは堅く守ります）

▶受講料 無料

▶申込・開催場所 県精神保健福祉センター☎622-6955（担当北川 参加希望者は開催する週の月曜までに電話で連絡）

INFORMATION

盛岡保健所で
遺伝相談会

専門の遺伝カウンセラーが次のような相談に応じます。（秘密は厳守されます）

・病気の遺伝性について / 病気についての本人への説明法 / いとこ同志の結婚について / 子どもへの病気の遺伝性について / 障害を持った子どもの療育と次の子どもの心配など

▶相談日 毎月第2水曜日 午後2:00から（8月は除きます。）

▶場所 盛岡保健所相談室（盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎2階）

▶相談料 無料

▶申込 相談希望者は事前に電話で予約してください。☎629-6582

INFORMATION

ホームヘルパー養成研修
介護サービス技術講習会

県立女性就業センターでは、介護人として就業を希望する人を対象に、厚生省ホームヘルパー養成研修2級課程の技術講習会を開催します。

▶日程 7月14日（金）から9月18日（月）までの32日間

▶会場 県立女性就業センター

▶定員 25人

▶受講料 無料（ただし教材費として1万円程度）

▶申込 受講希望者は6月12日（月）の9時から16時の間に、直接当センターに来所のうえ申し込み。

▶問合せ 県立女性就業センター ☎624-4646

INFORMATION

小説家、評論家、そして
もうひとつの胡堂の才能展

野村胡堂・あらえびす記念館では、



はりになどに模様を作り出すために使われた「チヨンナ」を手にする盛田さん。現在では使える人もほとんどいないという。

昭和十七年からこの道一筋
技術・知識とともに一級の職人



「家を大事にするなら換気ですよ。穏やかな口調で話してくれたのは指導者のな立場の木工である盛田長一さん。その目は戦前から現代までの住まいの変遷をずっと見てきた。「建て方も変わったし、建材も変わってきた。何より変わってきたのは住む人たちでしょうかね」。2×4や高気密・高断熱住宅など、住まいの周辺は技術を競い合い、より付加価値の高いもので他者に勝つとしてきた。」です

「と盛田さんは言う。「確かに高気密・高断熱はすばらしい。でも、家を長持ちさせるには強制換気をして、湿気などをため込まないようにしないと。そうしないと数年でダメになってしまう場合もあるんです」。盛田さんが建ててきた家は三百〜四百にもなるというが、修理をしなくてはならなくなってしまった家はわずか数棟という。「それが当たり前なんです」。口調にはなんの気負いもなかった。

編集後記

イベント担当者の気も知らず、なかなか咲かない桜にやきもきした城山桜まつりの初日、時折降る雨の中参加していただいた皆さん、大変ご苦労さまでした。連休中に咲きそろうた桜、締め切りに追われていた私にとっては、幸いしたようです。ゆっくりお花見をし、ひたすらビタミン補給を心がけたゴールデンウィークでした。(佐藤)

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2311

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット5月号】平成12年5月10日発行

発行 紫波町

〒082-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1 ☎672-2111

印刷/川嶋印刷株式会社

町長メッセージ

町制施行四十五周年記念事業でさらにステップ・アップ
今年には町制施行四十五周年にあたります。記念事業として、「知ろう 話そう 行動しよう 環境新世紀」をテーマに、次世代に伝える環境について考える機会を設け、皆さんが気軽に参加できる記念行事を計画しています。

内容については「紫波ネット四・五月号」に掲載されていますように、町の環境について、全国から参加する人々と町の子どもからお年寄りまで世代を越えて集い、自然とのふれあいの中で、次世代の環境はどうあるべきか、学習と体験を通して考えていきます。また全国にメディアを通じて発信していきます。

地方分権社会の流れの中、今、地方自治体に求められているのは、自主性と活力に満ちた個性豊かな地域社会の実現にあります。

環境にやさしい町づくりを通して、安全な食糧生産や健康な暮らしを目指します。このように魅力ある町づくりは、定住人口の拡大や環境型企業の誘致など活気ある町につながるものと確信しております。

この記念事業を、皆さまと一緒に自然の豊かさを後世に引き継ぐステップにしたいと考えています。また県内外から参加される方々と、日本酒の利き酒、もちモチ王国紫波ひめ隊によるもちつき、焼き肉など各種の交流を通し、未来を語り、より実りあるイベントとなることを願うとともに、多くの皆さまの参加をお願いいたします。

(藤原 孝)